

ユダヤ人の逃亡と反キリスト

-選びの民への神の熱心-

＜序＞患難時代の意味を

I. 天での戦いと敗北者のあがき

1. ユダヤ人へのサタンの執念 12:7-9, 12-13

2. 海から上る獣の冒瀆 13:1-8

3. 地から上る獣の惑わし 13:11-18

II. 忍耐と信仰、知恵と思慮が

1. なぜ、聖徒たちなのか 9-10v

2. あくまでも人間である 18v

3. 地に住む者たちに 12, 14v

ダニエルの七十週の  
最後の週 大患難時代(七年)

前半3年半 1,260日 一時と二時と半時 42ヶ月		後半3年半 1,260日 一時と二時と半時 42ヶ月
封印の裁き 黙示録6-7章	ラッパの裁き 黙示録8-9章	鉢の裁き 黙示録15-16章
① 十四万四千人のユダヤ人伝道師たち 黙示録7章 ② 小さな巻物と二人の証人 黙示録10-11章 ③ ユダヤ人の逃亡と反キリスト 黙示録12-14章 ④ 大バビロンの滅亡と小羊の勝利 黙示録17-19章		

耳のある者は聞きなさい。捕らわれの身になるべき者は捕らわれ、剣で殺されるべき者は剣で殺される。ここに、聖徒たちの忍耐と信仰が必要である。(黙示録 13:9-10)

思い巡らしのポイント

1. コロナ禍に始まった2020年の困難、そして主から頂いた恵みはあなたにとって何でしたか。
2. 変化極まりない中で、黙示録との取り組み半ばですがこの学びから受け取った事は何ですか。
3. 全世界が変化を余儀なくされている今、新しい年は何をするか、主に何う時間を取りましょう。